



千葉県PRマスコット  
キャラクター チーバくん  
千葉県許諾 第A3-16号



バスで行く！

# 千葉の小さな旅



今回の路線

ちばフラワーバス 海岸線巡回バス





## 丸みを帯びた四角ボディーが可愛い、 いすゞの中型路線バス エルガミオ

ちばフラワーバスは、千葉県山武市に本社があり、地域住民の足として活躍する路線バスや成東・東金地域～千葉・東京間を走る高速バスを運行しています。今回ご紹介するのは成東駅を出発し、九十九里浜を経て再び成東駅に戻る巡回バスとして主に活躍している中型路線バス「いすゞ エルガミオ (ERGA mio)」。

エルガミオの車名の由来はとてもおしゃれ。ラテン語でエルガは「～に向かって」という意味で新たな時代に向かって走り始めた路線バスをイメージしています。大型路線バスのエルガに対して、それよりも小型である意味としてミオという名が加えられています。

「いすゞ エルガミオ」は、1999年にフルモデルチェンジして発売された車両で、その翌年に発売された大型路線バス「エルガ」と同じくボディーの設計が一新され、ノンステップバス仕様となりました。外観的な特徴は全体的に四角く、コーナーに丸みを帯びたボディーのデザイン。視認性向上のためにヘッドランプが変更され、横置きから縦置き4灯式(左右2段ずつ)になっています。またサスペンションにも変更が加えられて乗り心地が向上されたほか、停留所で乗客のスムーズで安全な乗り降りをサポートするため車高を調整して乗降が楽にできるニーリング機能が標準装備されました。

定員は約60名。総排気量は約7,800cc。



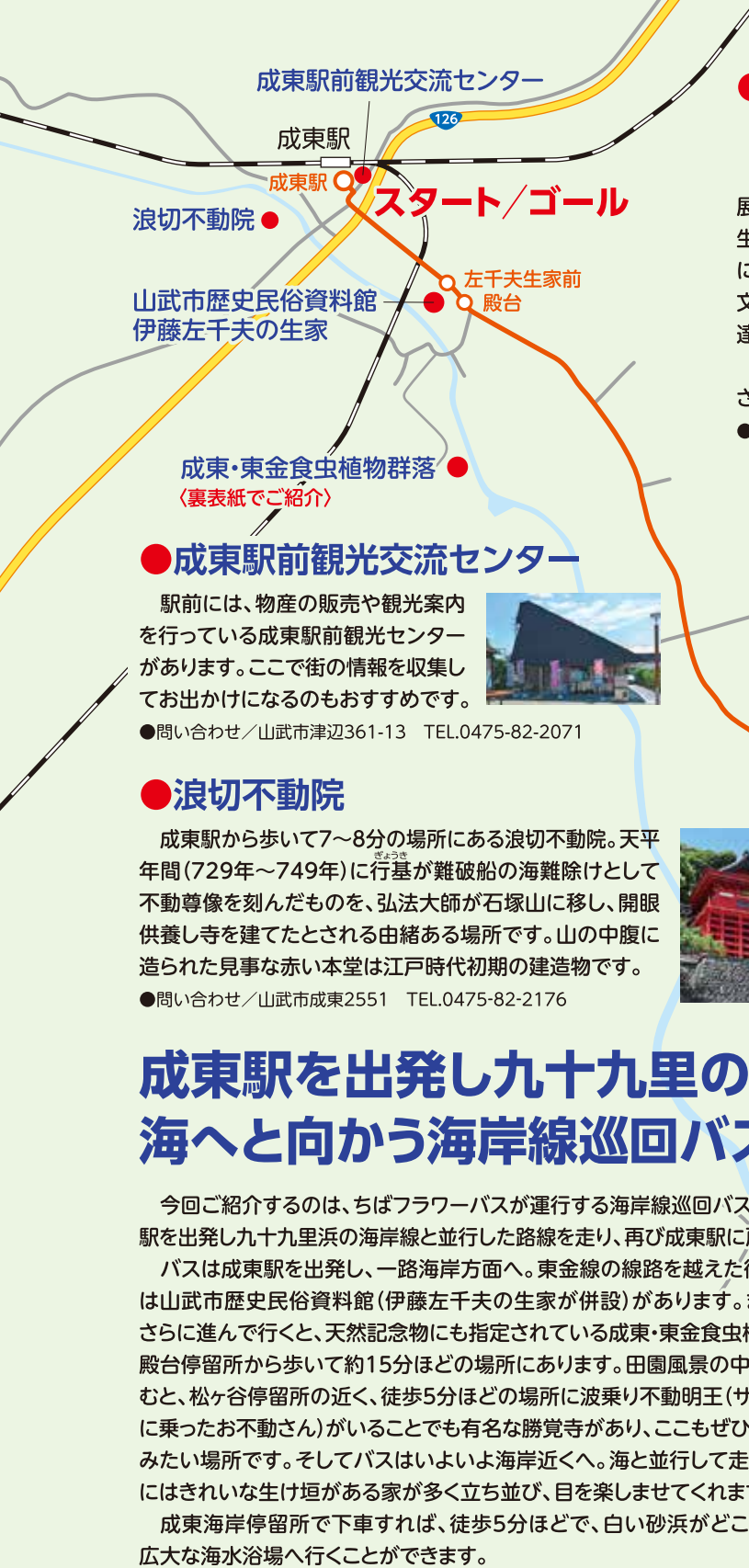
◀ちばフラワーバスの後ろには山武市マスコットキャラクターのSUNMシくんが描かれています。



▶ちばフラワーバスが運行している山武市基幹バス(さんバス)。市内各地域の拠点間や主要施設などを結ぶコミュニティバス。

### 路線バスのワンポイント知識

「高速バス」でも「夜行バス」でもない、一般道を走る路線バス。しかしびっくりするほどの長距離を走行する路線バスも存在します。日本一と言われているのは近鉄大和八木駅(奈良県橿原市)とJR新宮駅(和歌山県新宮市)を結ぶ、奈良交通の「八木新宮線」です。全長はなんと169.8km、停留所数168、所要時間約6時間30分。全国からわざわざこのバスに乗るために訪れる方々も多いのだとか。



成東駅前観光交流センター

成東駅

126

成東駅

スタート/ゴール

浪切不動院

山武市歴史民俗資料館  
伊藤左千夫の生家

左千夫生家前  
殿台

成東・東金食虫植物群落  
(裏表紙でご紹介)

## ●成東駅前観光交流センター

駅前には、物産の販売や観光案内を行っている成東駅前観光センターがあります。ここで街の情報を収集してお出かけになるのもおすすめです。



●問い合わせ／山武市津辺361-13 TEL.0475-82-2071

## ●浪切不動院

成東駅から歩いて7～8分の場所にある浪切不動院。天平年間(729年～749年)に行基が難破船の海難除けとして不動尊像を刻んだものを、弘法大師が石塚山に移し、開眼供養し寺を建てたとされる由緒ある場所です。山の中腹に造られた見事な赤い本堂は江戸時代初期の建造物です。



●問い合わせ／山武市成東2551 TEL.0475-82-2176

# 成東駅を出発し九十九里の海へと向かう海岸線巡回バス

今回ご紹介するのは、ちばフラワーバスが運行する海岸線巡回バス路線。成東駅を出発し九十九里浜の海岸線と並行した路線を走り、再び成東駅に戻ります。

バスは成東駅を出発し、一路海岸方面へ。東金線の線路を越えた街道沿いには山武市歴史民俗資料館(伊藤左千夫の生家が併設)があります。また街道をさらに進んで行くと、天然記念物にも指定されている成東・東金食虫植物群落が殿台停留所から歩いて約15分ほどの場所にあります。田園風景の中をさらに進むと、松ヶ谷停留所の近く、徒歩5分ほどの場所に波乗り不動明王(サーフボードに乗ったお不動さん)がいることでも有名な勝覚寺があり、ここもぜひ立ち寄ってみたい場所です。そしてバスはいよいよ海岸近くへ。海と並行して走るバス通りにはきれいな生け垣がある家が多く立ち並び、目を楽しませてくれます。

成東海岸停留所で下車すれば、徒歩5分ほどで、白い砂浜がどこまでも続く広大な海水浴場へ行くことができます。

## ●山武市歴史民俗資料館 伊藤左千夫の生家

市の民俗資料、考古資料、古文書などが展示されている資料館です。また、山武市で生まれ、小説「野菊の墓」を書いた伊藤左千夫に関する遺品、書跡、書簡、写真、書籍や文学の師である正岡子規やアララギ派歌人達との交流を示す資料もご覧いただけます。

またお隣には伊藤左千夫の生家が保存され、敷地内には茶室も残されています。

●問い合わせ／山武市殿台343-2 TEL.0475-82-2842



▲山武市歴史民俗資料館



▲伊藤左千夫の生家

今回の旅のスタート地点であるJR総武本線成東駅の駅前広場には、伊藤左千夫の歌碑があります。



## ●勝覚寺

地元では「四天様」と呼ばれ親しまれている真言宗のお寺。県指定文化財の木造四天王像が安置されています。境内に波乗り不動明王と言う、サーフボードに乗ったお不動さんがいることで、多くのサーファーの方々も訪れるお寺です。

●問い合わせ／山武市松ヶ谷イ2058  
TEL.0475-84-0248



▲波乗り不動明王とステッカーお守り

勝覚寺

松ヶ谷

九十九里浜

成東海岸

本須賀海水浴場

## ●本須賀海水浴場

九十九里浜特有の白い砂浜がどこまでも続く広大な風景が魅力の海水浴場です。奥行き約160mの砂浜が約500mにわたって続き、成東海岸で最も広い浜辺です。海岸線にはヤシの木が植えられ、気分はまさに南国気分。広い駐車場も完備され、砂浜にはおしゃれな海の家もあります。

●所在地／山武市本須賀字塩浜3841-124地先



※現地の時刻表に基づき取材をしています。曜日・季節・天候により時刻表・ルートが変更になる場合があります。





## 国の天然記念物に指定された、貴重な食虫植物が生息する植物群落

食虫植物とは、その名の通り虫を捕食する植物です。捕虫葉と呼ばれる、虫を捕らえるように発達した葉がトラップとなって虫を捕らえます。

ここ成東・東金食虫植物群落はこの貴重な食虫植物が多く生息する場所。大正9年に「成東食肉植物産地」という名称で国の天然記念物に指定され、昭和53年に現在の名称に改名されました。成東駅から南東約2km、作田川に沿う湿地帯にあります。

現在確認されている食虫植物は8種類。地上の葉の粘毛で虫を捕えるモウセンゴケ、コモウセンゴケ、イシモチソウ、シロバナナガバノイシモチソウ、地中の捕虫囊で虫を捕らえるミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、水中の茎や葉に捕虫囊をつけ微生物を捕らえるイヌタヌキモ(絶滅後再生)となっています。

また、この群生地には、食虫植物の他、ノハナショウブ、コバギボウシなど450種類を超える湿原植物

も自生しています。

初めて訪れる方やあまり植物にくわしくない方が楽しむためのポイントは、やはり目玉である食虫植物を見つけること。季節によって見られるものが限られますので、受付の事務所でいま見られる食虫植物とその位置を確認して探しに行きましょう。



▲作田川に沿う湿地帯に群落が広がっています。



▲シロバナナガバノイシモチソウ(モウセンゴケ科)



▲午前中しか開花しないコモウセンゴケの花(モウセンゴケ科)

●問い合わせ／**成東・東金食虫植物群落**  
山武市島、東金市上武射田 TEL.0475-80-1451



## イチ押しグルメ

いなびや (INAGE BEER)

千葉市稲毛区稲毛東3丁目6-13 1A  
TEL.043-301-2336

- 営業時間／平日 16:00～22:30  
土日 15:00～22:30
- 定休日／不定休

## 「ビールで地元盛り上げる」千葉市稲毛区のビール醸造所&ビアパブ

「いなびや」は2023年7月4日、千葉市稲毛区の稲毛せんげん通り商店街に開店したばかりのクラフトビール醸造所兼ビアパブ。ビールを手作りするだけでなく、ちょっとしたおつまみとともにクラフトビールが楽しめるビアパブとしても営業しています。

代表の岡村さんは同区出身。ビールには地元の井戸水を使用し、ビールの名前

も「稲毛」「せんげん通り」「宮野木ジャンクション」など、同区にちなんだ名前をつけたものが並んでいます。

手作りビールが最大8種類から選べ、小グラスでの飲み比べや、プラカップでのテイクアウトも可能です。もちろん1杯だけでも気軽においしいビールを楽しむことができます。最新の営業情報などはSNSでご確認ください。



<https://www.instagram.com/inagebeer/>

## 《バスで行く! 千葉の小さな旅》今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「バスで行く! 千葉の小さな旅」の第3回をご覧ください。



紙面に登場した名作「野菊の墓」を書いた山武市出身の作家は誰でしょうか。

次の3つの中から正解を1つ選んでください。

- ① 川端康成
- ② 夏目漱石
- ③ 伊藤左千夫

取材協力・撮影協力・写真提供／ちばフラワーバス株式会社、成東駅前観光交流センター、浪切不動産、山武市歴史民俗資料館、勝覚寺、成東・東金食虫植物群落

確かな“きずな”を、未来へ。



ホームページでもご覧いただけます。

京葉銀行 情報誌

検索

LINEからも「バスで行く! 千葉の小さな旅」を配信しています。

LINE 公式アカウント



正解は→③ 伊藤左千夫

2023.9  
(次回発行予定 / 2023年10月20日)